



支社長席



中国・ベトナムで新たな取組み

4月に大成建設から大成ロテックに出向し、10月1日付で国際支社長に就任。大成建設時代にもチユンジアなど日本国外の現場で活躍した経験を持ち、「海外で仕事大成ロテック国際支社長

田崎 信一氏
たに しのぶいち

をやる時には現地のやり方をリスペクトし、そこにわれわれの技術を融合させることで何ができるかを考える必要がある」と強調する。同社の海外事業は既に20年以上の歴史があり、現在は中国・ベトナムの2カ国を中心に展開している。

中国では、現地の元国営企業と2社の合弁会社を設立して実績を重ねている。現在は、事業の幅を広げるために、民間企業と新たな合弁会社の設立に向けた準備を進めている。

ベトナムでは、この1年で自動車会社のテストコースを2件完成させた。4月には現地法人を設立。

日本では一般的な再生アスファルトの技術を現地に取り入れることを目指し、アスファルトプラント

設立を予定する。「ベトナムの道路は一部で維持管理の時代を迎えつつある。そこに再生アスファルトを導入することで資源の再利用や道路の適切な機能の維持に貢献し、当社として新たな市場を開拓していく」と語る。さらに、ベトナムでは技術コンサル業務にも取り組んでおり、今後の受注に向けた実績づくりや現地の行政・企業との関係構築につなげていく。

1985年3月埼玉大学大学院工学研究科修了後、同年4月大成建設入社。前職は大成ロテック国際支社副支社長。茨城県出身。60年10月28日生まれ、59歳。